

町政報告レポート Vol.4



伊奈町議会議員

仲島 ゆうた 通信

2024年3月定例会号



発行人 仲島雄大

〒362-0806 伊奈町大字小室4107番地10号
TEL. 090-7429-3757 FAX.048-661-7244
E-mail. n42.yuta930.kagayaku.inatown@gmail.com

令和6年3月定例会

会期 令和6年2月27日から令和6年3月19日（22日間）

定例会は、3ヶ月毎(6月、9月、12月、3月)に招集され、年4回行われます。



令和6年1月1日16時10分。石川県能登地方に大きな地震が発生しました。けたたましく鳴る携帯のアラーム音に不安を感じました。輪島は、実母の実家でもあります。今でも報道を見るたび、子どもの頃に過ごした輪島の思い出が走馬灯のように蘇ります。震災で被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。さて、この令和6年3月定例会で1年間を終えました。日々の活動の重要性を今まで以上に学び、その積み重ねが形になることを肌身で感じた1年間でもあります。緊張感を持って、日々の活動に尽力いたします。

今回、より身近な議会に近づくために同僚議員と共に「議会だより」への要望などを伺いたくアンケートを作成いたしました。大変恐縮ではございますが、ご協力いただければ幸いです。

仲島ゆうた

この3月定例会で令和6年度予算が成立 一般会計の予算規模は15億8,400万円に 前年度より11億9,600万円(8.4%)増額



○3月の議案について○

今回の定例会では、議案25件(補正予算に関する議案6件、条例に関する議案11件、令和6年度予算に関する議案7件、専決処分1件)、陳情1件が審議されました。また、最終日には、副町長選任を含む追加議案3件が上程されました。

自治体の財政について：予算及び決算審議を経験したので自治体の財政に関して少し説明いたします。

自治体の財政は、家計をイメージするとわかり易いかと思います。各ご家庭とも、収入(給料)をどの様に使うか計画を立てていると思います。毎月決まって支払うお金や家族から必要なお金を聞いたり、優先順位を決めてお金を使って(配分して)いると思います。町も同様に町民の皆さまの声を聞いたり、住民サービスとして必要な事を考えたりしながら、1年ごとにどの様に配分するかを考えます。それが、予算です。決算は、予算(計画)どおりに使ったかの確認をすることです。

企業は、利益が優先されます。その為、企業は業績(結果)を見るための決算が大切となります。しかし、自治体は、予算が大切になります。何故なら、その年どの様な運営を行い、住民福祉の増進や暮らしの向上に繋げていくかを決めるためです。あまり知られていないかも知れませんが、自治体財政運営の唯一のルールは、「赤字になってはいけない」という事です。赤字にならないければ、何に使っても自由になっています。(細かいルールはありますが) その為、議会が財政管理状況をチェックし、施策等の優先状況を監視しています。



ご家庭ごとにお金の使い方は、様々です。例えば、旅行が多いご家庭、外食を楽しむご家庭、趣味に使うご家庭など、何に重きをおくかによって使途はいろいろあります。自治体も同様です。福祉に予算を多く使う自治体、子ども施策に注力する自治体、観光や施設建設に力を入れる自治体。自治体ごとに方向性や優先順位が違うのです。

自治体では、お金が余れば貯金するか(基金)、翌年にまわす(繰越す)かをします。また、足りなければ、貯金(基金)を切り崩すこととなります。尚、自治体の黒字・赤字は、貯金を切り崩した状態で判断する為、殆どの自治体の決算では黒字となっています。これ故に「黒字だから大丈夫」とは言い切れません。ある日突然「この状態が続くと破綻します。」と緊急事態が訪れることとなります。その様にならないために議会が監視・チェックを行っています。(貯金(基金)が無くなると財政逼迫が続く、いずれは財政破綻となります。)

自治体財政は、利益を出す事を目的としていません。そのため、収入と支出、貯金のバランスが重要になります。あわせて、自治体は生産性がないため、貯金(基金)が必要となります。緊急事態に備え、基金は積み立てる必要があります。

令和6年度の予算では、多くの新規や拡充事業が行われます。予算がしっかり使われ、皆さまの福祉増進、暮らしの向上に繋がる様にチェックして行きます。皆さまは、この予算がしっかり使われるかを決算にてチェックください。

FAX 048-611-7244

大変恐縮ですが、送信料等をご負担くださいませ。

「議会だより」を、よりわかりやすく、興味をもって頂ける内容にするためみなさまのお声をお聞かせください。(期限：5月30日)
このページを切り取ってFAX、またはこのページの写真を撮ってメール、または右の二次元コードからインターネットでご回答ください。



1、あなたの年代を教えてください。(当てはまるものに○をつけてください)

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90歳～

2、「議会だより」は読まれていますか？(当てはまるものに○をつけてください)

①いつも読んでいる ・ ②時々読んでいる ・ ③あまり読まない ・ ④読んでいない

3、「2」で①②を選択された方、「議会だより」でご興味のある内容を2つに○をつけてください

議案概要	常任委員会報告	年間予算・決算審査
議案一覧・審議結果	一般質問	視察報告
議会報告会	議会クイズ	

4、「2」で①②を選択された方、「議会だより」でご興味のない内容を2つに○をつけてください

議案概要	常任委員会報告	年間予算・決算審査
議案一覧・審議結果	一般質問	視察報告
議会報告会	議会クイズ	

5、「2」で①②を選択された方、議会だよりの「記事の文字の大きさ」はいかがですか？

小さすぎる ・ 丁度良い ・ 大きすぎる

6、「2」で③④を選択された方、その理由をお聞かせください。

興味がない ・ 届いていない ・ つまらない ・ 他 ()

7、議会配信の動画はご覧になったことはありますか？

ある ・ ない

8、議会だよりで読んでみたい記事があれば、教えてください。

Response area for question 8, enclosed in large parentheses.

3月定例会の一般質問では、公園に関する内容を取り上げました。

3月議会の
一般質問です

公園は、子ども達、子育て世代、高齢者の方々そして地域を支えている現役世代にとって、必要不可欠な公の施設でございます。その公園には、様々な効果があると言われております。その公園ですが、伊奈町においては設置状況の格差をはじめ、管理状況に多くの課題を抱えています。問題点を明確にし、改善に繋がることを期待し執行部へ質問をおこないました。

この町政報告レポートでは、一般質問の答弁内容の一部を抜粋して紹介しています。質問の内容や議場の様子はネット配信で確認できます。



ぜひ、ご覧くださいませ。



二次元バーコードはこちらです。

Q:町としてより良い公園とするにはどの様にすべきか。

A:全ての公園利用者が安心安全に利用できるように維持管理及び改修修繕等を行い、人が集いコミュニティの場となるような環境づくりをすることと考えている。

Q:町として考えている1人あたりの公園面積はどの程度か。

A:1人あたりの公園面積は、伊奈町緑の基本計画で(令和17年)の目標としている5.91平方メートルと考えている。

Q:現在の住民1人あたりの公園面積、市街地の1人あたりの公園敷地面積はどの程度か。

A:令和4年3月31日現在で、住民1人あたり公園面積は、5.34平方メートルで、また、市街地の1人あたりの公園敷地面積は、4.37平方メートルである。

※この数字には、(都市)緑地と呼ばれている施設が含まれています。伊奈町の都市緑地は、休息や散歩等は可能ですが、面積が小さいために一般的な公園機能や災害時の避難所としては使えません。公園であるか否かは、示された数字だけでは判断できません。数字だけみるとそれなりに公園があると判断されがちなので注意が必要です。



Q:丸山地区には街区公園がないのは何故か。

A:区画整理事業による開発行為で法令により、公園の設置が規定されている。町の住区基幹公園のほとんどは区画整理事業において設置された公園で、基幹整備の行われていない市街化調整区域である丸山地区には住区基幹公園はない。

Q:この状態は、何年くらい続いているのか。

A:昭和45年8月25日の用途地域の線引きにより、丸山地区は市街化調整区域となった。その間、面的な基礎整備は行われていない。

用地に関する規制等の課題があるにせよ、積極的な取組み(長期間放置→問題を先延ばし)を行ってこなかった点は、大きな問題としてとらえました。私の質問が核心に触れられず中途半端に終わった点は、反省すべき部分です。次の機会にいかして行きたいと存じます。

その様な状況ではありますが、現在考えられる資源活用は提案しました。例えば、旧がんセンターの跡地の活用。埼玉県との交渉は必要だとは思いますが、町に思いがあれば実現の可能性は秘めています。それ以外にも法人として雑木林を開拓・整理しイベントスペースを提供している民間等との連携は、より現実的かも知れません。それに加え、丸山スポーツ広場の環境整備については急務として町に改善を求めます。(設備の破損があり、危険と感ずる箇所があります。)

仲島ゆうたプロフィール 丸山地区(小室在住)

昭和42年7月26日生まれ
●埼玉県立浦和北高等学校卒業
●トヨタ学園日本自動車整備専門学校卒業
国内大手及び軽自動車ディーラー整備(サービス本部在籍)
専門学校技術教員経験。

●NPO法人IBD(炎症性腸疾患)ネットワーク就労特任理事
●ボランティア団体 埼玉IBDの会代表
(潰瘍性大腸炎、クローン病患者会)
難病当事者としての視点で「誰もが笑顔になれる」伊奈町を目指す。
●妻、長女、長男、愛猫の茶々丸(♂)、のん(♀)

あなたのお力をお貸しください!! 応援よろしくお願いたします。

地域のご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください。

後援会員&ボランティア募集中

▼お問い合わせ先
携帯 090-7429-3757

◇令和6年度予算における一部事業紹介◇

●予算額が大きい事業●

中学校整備事業
2億1,453万円



南中学校校舎トイレ改修をはじめとする学校施設整備

役場庁舎建設事業
1億2,196万円



令和9年度供用開始のための基本設計業務実施

緊急浚渫推進事業
3億9,908万円



大雨被害軽減、調節地、排水路の堆積土砂など浚渫工事費用

消防広域化運用事業
6億6,442万円



消防広域化による安心・安全強化及び安定を図るための負担金(上尾との)

基幹的設備改良工事業
12億8,886万円



広域ごみ処理施設が開始するまで稼働中の焼却炉延命的に係る改良工事費用

●私が注目する事業の一部●

下記以外にも新規や拡充、継続など注目事業がございます。一部ですが、紹介します。

交通安全啓発事業
70万円 **新**



交通事故による被害軽減のため、自転車用ヘルメット購入補助(上限2,000円)

令和5年6月一般質問にて町の道路状況を鑑み、ヘルメット購入補助を訴えました。

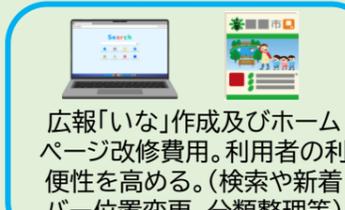
防犯カメラ設置事業
408万円 **KEEP**



町内小学校通学路に防犯カメラ設置し犯罪発生防止を図る(今年度は5基予定)

これ以外にも防犯等々の観点から道路照明灯維持管理や設置事業もあります。

広報事業
1,723万円 **↑**



広報「いな」作成及びホームページ改修費用。利用者の利便性を高める。(検索や新着ページ位置変更、分類整理等)

一般質問では、度々、利用する側の視点、利便性を考えホームページ改修を訴えてきました。

多子世帯就業支援事業
75万円 **新**



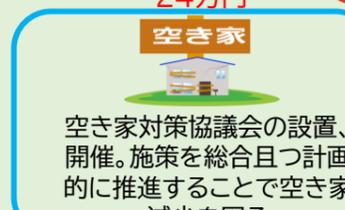
経済的負担軽減として第3子以降の新小学1年生へ体操着プレゼントする

消防施設整備事業
27万円 **新**



消防力適正配置調査に基づき北部に消防署所新設準備のための事業

空き家対策事業
24万円 **新**



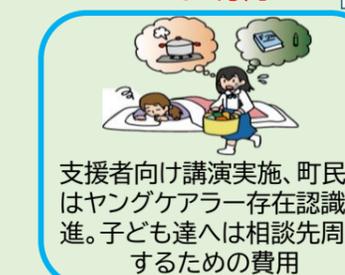
空き家対策協議会の設置、開催。施策を総合且つ計画的に推進することで空き家減少を図る

医療的ケア児保育支援事業
810万円 **新**



法律に基づく医療的ケアが必要な児童に合わせた保育を実施

ヤングケアラー支援事業
154万円 **KEEP**



支援者向け講演実施、町民へはヤングケアラー存在認識促進。子ども達へは相談先周知するための費用

町のにぎわい創出事業
411万円 **↑**



伊奈町版スーパー・シティプロジェクトの事業化に向けての調査研究費用